

まち協を含む「地域まちづくり」の推進に向けた成果と課題

1 まち協設置時

地域側の課題

高齢化の進行，担い手不足，町内会加入率の低下など

- ・地域活動の**活性化**，**連携強化**の必要性
- ・地域活動に対する**行政支援**の必要性
- ・地域**活動拠点**の必要性

行政側の課題

多様化・複雑化する住民ニーズへの対応

- ・地域まちづくり推進協議会（まち協）の**設置**
- ・市からの**人的・財政的支援**の実施（補助制度の創設）
- ・地域施設の整備，機能の集約

地域自治推進ビジョン（H26.10策定）

「住民自治組織の連携促進と機能強化」「行政支援・機能の充実」「地域活動拠点の整備」
（地域範囲の最適化）（情報共有体制の強化）（自治意識の醸成）

まちづくり基本条例（市民主体・地域主体のまちづくり）

2 これまでの成果と課題

R4年度まち協委員
アンケートなどから

成果

- ・地域内での団体間の情報共有，地域と行政の情報共有
- ・地域活動の**充実**
（まちづくり推進協議会に関わる事業に参画した住民
H26：813人→R1：1,478人 ※665人増）
（地域まちづくり推進事業補助金の交付件数
H24：13件→R1：64件 ※51件増）
※R2年度以降は新型コロナの影響があるためR1で比較
- ・**拠点の整備**（東部まちづくりセンター，グリーンパル等）

課題

- ・担い手の高齢化，担い手不足，負担感
- ・地域活動に対する**関心の低さ**，**情報不足**
- ・町内会の**加入率低下**（H24：61.7%→R3：56.6%）
- ・**コロナ禍による活動の制約**
- ・まち協は，**市が設置する懇談会という位置づけ**…
※市が設定するルールのもとでの活動となってしまう
「意見交換の場であり，意思決定機能がない」
「補助金を受けるため，実行組織の立ち上げが必要」など

組織・人

（より**自由度の高い組織**へ，引き続き**人的・財政的支援**）

活動拠点

（地域の**拠点機能の確保**）

情報

（**発信力の強化**）

R4，R5年度で意見交換を行い，地域まちづくりの体制見直しに向けた検討を行う